



桜援団

令和6年10月17日

第782号

文責 教頭 釜屋雄一

第13回ふれあいフェスティバルに向けて その4

1年生の活動を紹介します

1年生は、「SDGsについて自分たちが学んだことや調べたことをもとに、地域の方々へSDGsの大切さを訴える情宣活動を行うことで、持続可能な世界を築くことの大切さについて考える心を育てる」「SDGsについて深く学んでいく中で、地球と【ともに生きる】地球市民としての資質や能力を高める」という2つのねらいをもって、総合的な学習の時間の授業を進めています。

■トヨタ紡織ブース（金工室）

トヨタ紡織の方を講師としてお招きし、自動車のシートやフィルターの端材を活用したものづくりを追究しています。来場された参加者の方々に、小銭入れ・小物入れ・ペンケースの製作キットを用意し、楽しくものづくりをしていただきたいと考えています。



■食品廃棄物を減らそうブース（木工室）

食品廃棄物の現状や対策についての発表内容を検討したり、賞味期限や消費期限等に関するカードゲームを考案・作成したり、食品廃棄物を活用したプランターづくりをしたり、食品ロスを減らす対策をまとめたパンフレット・シールを作成したりしています。来場された方々とともに楽しく活動したいと考えています。



■SDGsすごろく＆エンピツプロジェクトブース（柔剣道場）

SDGsに関するクイズを解きながら進む巨大すごろくができるように準備を進めたり、発展途上国の子どもたちへ文具をプレゼントできるように、来場していただいた方々に対して、未使用の鉛筆・色鉛筆・クレヨン・消しゴム・ボールペン・ノートの寄付を募る準備を進めたりしています。来場された参加者の方々に対して、活動とつなげながら、SDGs宣言をしていただくように働きかけていきたいと考えています。



また、1年生は毎年、交流館が設定する催しのボランティア活動にも協力しています。今年も36人のメンバーが、地域のために活躍する予定です。